

2012,11,04

学校における情報支援についてのアンケート

聴覚障害児の教育を考える市民の会では  
通常学校で学ぶ聴覚障害児・生徒に有意義な情報支援を行うため  
支援者の育成、研修会の実施などを事業として行っております。

情報支援者配置のため制度化を求める活動を  
活発化させるためご意見をお聞かせください。

学校での情報支援についてお聞かせください。

- 1、 お子さんは、聴覚に障害をお持ちですか？  
①はい                      ②いいえ
  
- 2、 通常学校で学ぶ聴覚障害児・生徒がいることをご存知ですか？  
①知っている              ②知らない
  
- 3、 通常学校で学ぶ聴覚障害児・生徒への情報保障があることをご存知ですか？  
①知っている              ②知らない
  
- ①の方 その情報保障手段は何ですか？（複数回答可）  
ア手話      イ筆記      ウ補聴システム      その他（              ）
  
- 4、 文字による情報支援は必要だと思われませんか？  
①思う                      ②思わない                      ③分からない
  
- ①の方 どの学齢期から必要だと思われませんか？  
ア幼稚園      イ小学校      ウ中学校      エ高校以上
  
- 5、 1で①とお答えの方  
①お子さんに情報支援をつけようと思われませんか？  
ア思う              イ思わない      ウ分からない
  
- ②それはどうしてですか？  
[自由にお書きください]

いただいたご意見は当会の事業計画の参考にさせていただきます。 ありがとうございます。

<アンケートの実施日>

平成24年11月4日

<アンケートの対象者>

兵庫県難聴児親の会 設立準備会に参加の聴覚障害児保護者

<アンケートの回答内容>

学校での情報支援についてお聞かせください。

- 1、 お子さんは、聴覚に障害をお持ちですか？  
①はい（19）                      ②いいえ（1）                      全回答数（20）
- 2、 通常学校で学ぶ聴覚障害児・生徒がいることをご存知ですか？  
①知っている（18）                      ②知らない（1）                      回答なし（1）
- 3、 通常学校で学ぶ聴覚障害児・生徒への情報保障があることをご存知ですか？  
①知っている（11）                      ②知らない（8）                      回答なし（1）

①の方 その情報保障手段は何ですか？（複数回答可）

ア) 手話（5） イ) 筆記（8） ウ) 補聴システム（8） エ) その他（なし）

- 4、 文字による情報支援は必要だと思われませんか？  
①思う（19）                      ②思わない（0）                      ③分からない（1）

①の方 どの学齢期から必要だと思われませんか？

ア) 幼稚園（6） イ) 小学校（12） ウ) 中学校（3”） エ) 高校以上（1”）  
（” ※中学か高校）

- 5、 1で①とお答えの方  
①お子さんに情報支援をつけようと思われませんか？  
ア) 思う（16）                      イ) 思わない（0）                      ウ) 分からない（3）

②それはどうしてですか？

[自由にお書きください]

<つけたいと思う>

\*（幼稚園から支援をつけようと思う）目で情報を得れるようにする為でもあるから  
\*可能であればつけたいと思う。中等度で支援がなくてもやっていけそうだが、現状として聞き間違えて覚えていることも多く、正確な情報を得ることが大切だと思うから。



- \* 詳しく説明しないと分からないことが多いから。
- \* 現在（4年生）市内の小学校に通っていて、現在すごく情報支援が必要だと感じています。ノートすらちゃんと書いて帰ってこない状態なので・・・。  
神戸ではどのようにしたらいいのかわからないので教えてほしい。
- \* 健聴の子どもさんと同じ環境であることが望ましいと思います。  
そこから、どうするかは子どもの選択に任せたいと思います。
- \* どんな聴覚障害児であっても、その子に合った情報コミュニケーション支援をしてあげることが重要です。  
“インクルージョン”という考えで、普通の子と同じ教育環境で学ぶ権利は必要です。
- \* FM（補聴器）を持っていますが、本人が使いたくないと言って使っていません。  
将来本人が情報保障を選べるように、さまざまな支援を経験させたいと思いますが、神戸（市）では、FMシステムを保護者が学校に（使うことを）お願いするのがやっと、という感じです。
- \* 先生の話は勿論だが、授業の中での同年代の生徒の発言や意見を知ることにより、情緒的な成長につながると考えています。何より、その場に参加しているんだと感じられることが大切なことだと思います。そこにはやはり情報支援が重要だと考えています。
- \* 聞こえていても不十分です。

#### <分からない>

- \* 今、小学低学年のため、イメージがわからないので。  
もう少し情報支援のための講演（？）など、知る手段があったり、モデルとなる先輩の方がいらっしゃったらと思いました。
- \* 本人が嫌だというので迷っているところです。
- \* 使いこなせるのかどうか（文字による支援を）、実際使ってみないと良く分からなくて。
- \* 学校生活の間に情報支援が充実して過ごせても、社会に出た時になくなると、自分で切り開いていくことができるか？と思う。  
社会も当たり前のように情報支援があれば、もちろん情報支援をつけたいですが。

#### <まとめとして>

通常学校で情報保障があるということを知らない人が半数近く存在するという事は、情報保障を実施している学校が少ないと考えられる。にもかかわらず、文字による支援が必要と答えるのは、文字による支援の有効性が認識されていることだと感じられる。そしてその大半が、言葉や文字を覚え始めた頃、学び始めた幼少の頃から必要と考え、通常学校で情報支援があることを知らなくても、情報支援をつけようと思っている、あるいは迷っている状態にあり、つけようと思わない人はいない。

迷っている中には、本人が嫌だということがあり、理由ははっきりしないが、他所からの目ということや、授業中に支援によって出される文字を読むという作業が増えるということが考えられる。

実際に支援が使いこなせるか、低年齢の場合イメージがわからない保護者もあり、実際に行っている方法を見てもらうなど、知ってもらう活動も必要になると考えられる。

次の活動につなげたいと思う。